

# ひっかけ問題 [緊急対策ゼミ]

## ステップ **A・B・C・D** 「60.6%」

<http://www.derutoko.kp> 学科試験パーフェクト分析から「ひっかけ問題」に重点をおいた特別ゼミ！

### 1段階「出題頻度 60.6%」 **A** ゼミ／内容

1 運転者の心得 **2.96%**(予想出題数 3 問)

2 信号に従うこと **4.44%**(予想出題数 4～5 問)

3 標識・標示に従うこと **11.94%**(予想出題数 12 問)

4 車の通行するところ・車が通行してはいけないところ **6.11%**(予想出題数 6 問)

5 緊急自動車の優先 **3.33%**(予想出題数 3 問)

**ひっかけ問題**とは？

「教科書とよく似た言い方で、読み間違いをさせる問題です。」

この点に注意をして、ゆっくり考えながら問題を読む練習をしてください。

テキストは「左」に学科試験問題、「右」に解説になっており、スムーズに勉強ができるようにしております。是非、効率よく勉強し合格してください。

全教程を代表するひっかけ箇所を掲載。

業界初！色別だから“読み間違い”に注意できる。これが、ひっかけ問題の正体なのです(笑)！

## 1 段階1項目「車社会人としてのモラルと責任」

交通規則の遵守の原則について 交通規則は、守らなければならないこと

- 1.交通規則を守っていれば、**交通利用者のこと**までは考えなくてよい。
- 2.交通規則にないことは、**自分本位の判断**で運転すればよい。
- 3.走行中、**空き缶などを投げ捨てたり**すると、交通事故の原因になる。
- 4.免許を手にすることは、**3つの責任を自覚**することである。
- 5.明らかに人のいない地域を通行するときは、**かならずしも**交通規則に従う必要はない。

## 2 チャイルドシートの使用方法について

- 1.**6歳未満**の幼児を乗せるときは、**どんな場合でも**チャイルドシートを使用する。
- 2.自動車に**6歳未満**の幼児を乗せるときは、チャイルドシートを使用し、**できるだけ**後部座席に乗せるのが安全である。
- 3.チャイルドシートを使用するときは、発育に応じた物であれば**座席意外**でもよい。
- 4.チャイルドシートは、子供が**運転操作の支障**になることを防止している。
- 5.こどもを**ダッコ**していれば、チャイルドシートを使用しなくてよい。
- 6.幼児を乗せる時は、病気のために**やむを得ない場合**をのぞき、幼児の**発育にあわせたもの**を使用する。

## 3 携帯電話とカーナビゲーションの制限について

- 1.やむをえず携帯電話を使用するときは、**安全なところに**停止する。
- 2.運転中は、携帯電話の使用を**やめるか**、電源を切るか音が鳴らないようにする。
- 3.走行中、**カーナビゲーションを注視**すると、周囲の状況に対して**注意が不十分**になる。

## 4 シートベルトの使用方法について

- 1.シートベルトは**ねじれていても**、腰ベルトをしめてれば危険でない。
- 2.シートベルトは、**同乗者はしなくてよい**。
- 3.シートベルトをするときは、腰ベルトは**腹部**に巻きつけるようにする。
- 4.シートベルトをするときは、腰ベルトは**腹部**にかかるよう、ゆるくしめる。

## 5 認知・判断・操作に関することについて

- 1.自動車の運転は、認知・判断・操作の繰り返しで、**どれを怠っても**事故につながる。
- 2.運転中の**疲労**は、目に強く現れるため**判断力**が低下したりする。
- 3.**疲労**は、いねむり運転につながるので、**運転しないほうがよい**。
- 4.**気分がよくない**ときは事故を起こしやすいので**運転しないほうがよい**。

ひっかけ問題の正体は、問題の読み間違いを誘うことです。  
いかに、丁寧に！いかに、落ち着いて！答えるかが分かれ道。

## 1 段階1項目「車社会人としてのモラルと責任」

**交通規則の遵守の原則について 交通規則は、守らなければならないこと**

- 1. × 交通利用者のことを考える交通規則です。
- 2. × 自分本位ではいけません。
- 3. ○ 当然、危ないことです。
- 4. ○ 刑事上・行政上・民事上の責任があります。
- 5. × 人がいなければ何をしても良いわけがありません。

## 2 チャイルドシートの使用方法について

- 1. × 病気などやむを得ない場合もあります。
- 2. ○ できるだけ後部座席が安全です。
- 3. × 座席以外では使用しません。
- 4. ○ 運転の支障にならないためです。
- 5. × ダックが危険なのでチャイルドシートを使用します。
- 6. ○ やむを得ない場合をのぞき、発育に応じたものを使用します。

## 3 携帯電話とカーナビゲーションの制限について

- 1. ○ 安全なところに停止します。
- 2. ○ やめるか・切るか・鳴らないようにします。
- 3. ○ 当然、注視すれば注意が不十分になります。

## 4 シートベルトの使用方法について

- 1. × ねじれていればダメです。
- 2. × 同乗者も必要です。
- 3. × 腹部はダメです。
- 4. × 腹部はダメです。

## 5 認知・判断・操作に関することについて

- 1. ○ 認知・判断・操作が運転なのでどれかを怠れば事故です。
- 2. ○ 疲労は判断力が低下します。
- 3. ○ 疲労のときは運転しない方がいいです。
- 4. ○ 気分がよくないときは運転しない方がいいです。

# 1段階 A ゼミの合格対策ポイント

**「A ゼミの中心となるポイントは、“標識・標示”です！」**

本試験全体の中で10%以上の出題頻度！覚えにくいので、「ほどほどに」なんて対策していたら大変なことになります。必ず、各教習項目で出題されてた「標識と標示」は、**チェック(正確に暗記)**しておきましょう！

## 1段階3項目「標識・標示に従うこと」

### 1 歩行者用など

- 1.  「歩行者専用」はどんな車でも通行してよいが、歩行者がいれば徐行しなければならない。
- 2.  「歩行者専用」では、二輪車はエンジンを止めて押して歩いても通行できない。
- 3.  「歩行者用路側帯」は、歩行者だけが通行できる。
- 4.  「歩行者用路側帯」では、歩行者の通行を妨げなければ、自転車も通行できる。

### 2 横断歩道など

- 1.  「横断歩道または自転車横断帯あり」では、加速や追い越しをしないようにする。
- 2.  「横断歩道」と  「自転車横断帯」の手前で追い越しをした。

この「標識は何でしょう？」という問題はありません。例えば、この標識があるところでは、「自動車は通行できますが、自転車はどうでしょう？」・・・

**90%以上が合格ラインの理由が、ここにあります。**

おすすめの理由は・・・

**「ひっかけ問題とポイント解説が両開き」**で  
使いやすい。業界初の色分け問題を読んで・・・  
すぐ、ポイント解説で確認でき。  
しかも、教科書で**完全攻略**を目指します。

- ① ひっかけ問題を解いてみる！
- ② ポイント解説で答えを確認する！
- ③ 教科書で調べる動作が記憶に残る！
- ④ 教科書で調べた答えにマーカーをする！
- ⑤ 問われる答えは・・・「限定される!？」

さあ、合格に必要な「仕分け」作業をやりましょう！

**整理整頓が最短合格。**